

\* \* \* \*

1982年7～8月に岩月善之助博士と北川尚史博士がニューカレドニアで採集された蕨苔類のうちクラマゴケモドキ13点を調べた結果、ミドリクラマゴケモドキ（新称）たゞ1種であった。ニューカレドニアから記録されていた他の2種は本種の異名となる。本種はガラパゴスやハワイを除き、太平洋諸島およびニューギニアに広く分布する。

□光田重幸：検索入門しだの図鑑 223pp. 保育社，大阪．1986．¥1,400．初心者にとってシダは取っつきにくいとよく言われる。ことに日本のように種類の多い国でははりにくい。その上わが国のシダ専門図鑑や植物図鑑のシダの部は，初めての人には難解で使い切れないことが多い。この本は北海道から九州までのシダのうち一般的な約200種と，よく見る園芸種35種を選んで解説し，似た種を極めて簡単に紹介するのに止めているので，入門書としては工合がよい。種類の並べ方は，葉の形，切れ込み方，葉脈など一目でわかる特徴でまず見分け，次に孢子嚢群，根茎，鱗片，毛といった細かい特徴を用いるようにしている。そのため普通の図鑑とちがって，分類系では遠縁とされている種類が隣り合わせになったりしているが，かえってわかりやすいこともある。本文は図版と解説が2ページごとにはいって，各ページ3～4種類が納められている。図版はすべてカラーの生態写真で，これは色の上がりもよく一見して特徴をつかむことができる。解説は親切で，生態や栽培法まであり，それぞれ羽片の一部，葉脈，孢子嚢群，鱗片などの略図も付いている。著者はシダ学界で最も精力的に活動している若手学者の一人なので，この内容は安心して信頼できるものである。なおこの本は，保育社発行の検索入門シリーズに属していて，長田武正氏が考案した方法による同氏著：野草図鑑全8巻と似たやり方によっている。

(伊藤 洋)

□原 襄・福田泰二・西野栄正：植物観察入門 179pp. 1986. 培風館，東京．¥1,600．植物の形態をわかりやすく書いたテキストはすくない。植物図鑑の用語解説のような便宜的なものか，いかにも「形態学」という風の堅い記述のものである。本書は大部のものではないが，植物の主要な形態について，分類学や形態学の知識の少ない人にもわかるようにていねいな解説がなされている。実物を手にして本書の記述を追いながら実習をすることもできる。とくに最近の学校教育ではこういう知識のとばしい教師が多いようだから，ぜひ利用してほしい。分類学専攻者にも有用な参考書である。精細な写真を効果的に使っているが，説明のための線画がもっとあってほしかった。

(金井弘夫)